



和光市保育センターHPはこちら！



保育センター通信

和光市保育センター発行 第6号
R6. 3. 21

保育施設では、子どもの育ちを引き出すために様々な工夫をしています。
今回は、よくある子どもの姿に合わせて、保育施設で行っている工夫をご紹介します。

市販のおもちゃは
すぐに飽きてしまうんです…

そんな時、保育園では？



子どもの行動に応じてくれる
手作りおもちゃ！



第2ひだまりの保育園

様々な感触や仕掛けがある壁掛けおもちゃ。感覚を育て、手指の発達にもつながります。子どもの目線の高さに設置すると、つかまり立ちや伝い歩きも促すことができます。



つかさ保育園和光市和光園

箱やプラスチックの入れ物に穴をあけ、カットしたホースやチェーン、ストローなどを入れるプットイン。目と手の協調性が高まります。子ども自らがあそびに集中する時間を大切にしています。



ひろさわ保育園

子どもが自分で身に着けやすいよう、ゴムや面ファスナーを使用したエプロン、スカートなど。再現あそびが広がるうえに、楽しみながら脱いだり着たり、体の使い方も覚えられます。



いつもおもちゃを
出しっぱなしなんです…

そんな時、保育園では？

子どもができる
見て分かりやすいお片付け！



下新倉みどり保育園

表紙を見せる収納で、子どもが探しやすく、出し入れしやすくしています。



丸山台ひなた保育園

箱に写真が貼ってあるので、どこに何を入れるのかが一目で分かります。子どもが簡単に片付けられるようにしています。



中央ひなた保育園

自分の物は個人ロッカーに、クラスで共有するものは、この棚に。使う道具は子どもたち自身が管理しやすく工夫しています。

お問い合わせ：和光市保育センター
〒351-0104
埼玉県和光市南 2-3-3 みなみ保育園 2F
TEL：048-483-4407
FAX：048-483-4408